

平成29年度 西都銀上学園 自己評価書

【自己評価:4段階評価】 4(十分に満足できる) 3(ほぼ満足できる) 2(やや物足りない) 1(改善を要する)

評価項目	評価の観点	方策・指導の手立て	職員評価		総合評価	反省・対策
			指標別	総合		
基礎 「やる気 確実な 定着 児童 学力 向上 育成」	個に応じた指導	児童生徒の状況を把握し、一人一人に応じた学習指導の工夫改善を図る。	・個に応じた指導の工夫・改善 ・「めあて」「目標」と「まとめ」のある学習指導過程 ・シロミックスタイム等の個に応じた指導の充実	3.4	3.2	3.3
	授業力の向上	中学校教諭による乗り入れ授業を行い、学力向上を目指すとともに、小中相互の授業参観を積極的に実施し、授業の工夫・改善に努める。	・乗り入れ授業による個別指導の充実 ・授業研究会による研修の充実	3.5		
	家庭学習の充実	家庭との連携により、家庭学習の習慣化に努め、基礎学力の定着を図る。	・基礎学力の定着を図る家庭学習の指導 ・個に応じた家庭学習の指導	3.2		
	学力向上	NRT、CRT、実力テスト等の諸検査の分析を生かし学力向上のための手立ての充実を図る。	・諸学力検査の結果による児童生徒の実態	3.4		
	学習意欲の向上	児童生徒の向上心を高め学習に対する意欲を喚起する。	・学習意欲の喚起 ・目標をもち向上心をもって学習に取り組む態度の育成	2.8		
2 「本気」 基本 な 生活 習慣 の 定着 と 豊 かな 心 の 育 成	基本的生活習慣の指導	あいさつや言葉遣いの指導を中心に、基本的な生活習慣の確立に努める。	・あたりまえのこと三カ条を中心とした指導	3.2	3.1	3.4
	道徳教育 人権教育	道徳の時間や人権学習の内容充実を図り、思いやりの心や温かい人間関係の醸成を図る。	・道徳の年間計画の見直し ・道徳の授業の工夫改善と体験活動の充実 ・人権教育の全体計画の作成	3.1		
	体験学習	地域の伝統文化や自然、福祉に関わる体験的学習を推進し、豊かな心の育成を図る。	・伝統文化を活かした体験学習の充実 ・豊かな自然を活かした校外活動の実施 ・福祉に関する体験学習の充実	3.5		
	基本的生活習慣	基本的生活習慣の定着を図る。	・児童生徒の実態	2.9		
	思いやりの心	思いやりの心や温かい人間関係の醸成を図る。	・児童生徒の実態	2.9		
3 体 力 の 健 康 向 上 ・ 安 全 教 育 の 推 進 と 体 力 向 上 の 実 態	食育の充実	食に関する指導を充実させ、「早寝・早起き・朝ご飯」の推進や「みやざき弁当の日」の取組を行う。	・食育の充実	3.2	3.3	3.5
	健康安全教育	心身の健康維持に関する指導に努める。	・児童生徒の実態把握や教育相談の充実	3.4		
		生命尊重を基盤とした健康・安全教育を推進する。	・健康教育・安全教育の推進	3.3		
	体力向上		・体力テストの結果を生かし、個に応じた指導の充実	3.4		
	部活動・行事等	体育指導の充実と運動の日常化を通して、児童生徒一人一人の体力向上に努める。	・部活動、行事等に根気強く取り組む態度の育成	3.3		
体力に関する実態		・児童生徒の実態の把握	3.4			
4 家 庭 教 育 ・ 小 中 一 貫 教 育 の 推 進 と 協 力 体 制 の 確 立	小中一貫教育	学習指導面や生徒指導面における小中連携の在り方等について共通理解、共同実践しながら、小中相互の連携や協力体制の確立を図る。	・学習指導面での小中連携の充実 ・生徒指導面での小中連携の充実	3.6	3.6	3.6
	情報発信(説明責任)	学校の教育方針や教育的課題を積極的に説明するとともに、学校便りやホームページ等を通じた情報提供に努める。	・教育方針や課題についての積極的な説明 ・学校便りやHPによる情報提供の充実	3.5 3.7		
	関係機関との連携・協力	山村留学実行委員会、保護者(実親、里親)との連携・協力体制の確立を図る。	・関係機関との連携・協力体制の確立	3.7		